

# R 7年度 災害時個別支援計画作成に関する活動実績

(R8年2月20日時点)

## ○ 災害時個別支援計画

### (1) 作成件数

5件 (大人3件、子ども2件) ※ 年度内作成予定を含む

### (2) 作成に係る延べ訪問回数

21回 (当事者宅6回、事業所等15回)

### (3) 作成に係る延べ訪問対応人数 ※ 計画作成会議参加者を含む

84人 (当事者、家族、医療機関看護師、訪問看護師、  
ケアマネジャー、医療機器業者、福祉用具業者 等)

## ○ 避難訓練への参加・同行

### (1) 参加・同行件数

4件 (すべて大人)



## 参加者からのご意見

(支援計画作成会議でいただいたご意見から抜粋)

- 避難計画は災害によって分けて考える必要がある（大雨と地震では避難行動が異なってくる場合がある）
- 避難を始めるにあたっての司令塔（コマンダー）やタイミングをしっかりと決めておく必要がある
- ご本人にとって避難先が安全・安心であると感じられる場所でなければ、避難しない方がよい
- 様々な機器や大量の物品を持って避難をすることのハードルが高い
- 停電時には人工呼吸器等の医療機器の心配もあるが、機械式駐車場の場合は車が使えなくなるなど、避難時の移動も制限される
- 自宅避難の場合は、物品のストックが何日分あるか、停電時の電源が何時間確保できるかを把握し考慮しておく必要がある
- 作成した支援計画は、行政の方でもいざというときの支援（広域避難等）に活用してほしい、また、その体制を作してほしい
- 停電時に備えた非常用電源の確保は必須であり、備えるための支援をしてほしい

## 家庭の備えの点検や支援計画作成を通して見えてきた課題（主なもの）

### ① 自助を支える仕組みの整備

- ・ 自宅での避難を継続するための支援（非常用電源確保の支援、避難生活中に必要な物品を確保できる仕組みなど）が必要

### ② 本人の意向に配慮した支援計画の作成、作成した支援計画の活用

- ・ 避難先等について、本人の意向を十分確認し、支援者の意見とすり合わせをしながら計画を作成していくことが大切
- ・ 作成した支援計画を、行政含め広い視点でどのように活用できるのか検討が必要

### ③ 支援計画の作成を効果的・効率的に進める方法の検討

- ・ 市内の対象者にスピード感をもって支援計画を作成していくための方法について検討が必要（普段から支援に携わる方が中心となって計画を作成する仕組みづくりなど）

### ④ 避難先の確保と選択肢の拡大

- ・ 自宅避難が困難となった場合に備えて、「電源等の確保ができ、安心して過ごせる避難先」の選択肢を広げていく取組が必要。

# 自助を支える(非常用電源の確保)

## 1 市内の状況

※ 福岡県が実施した「令和6年度災害に備えた在宅人工呼吸器使用患者実態調査」より  
(回答者：北九州市在住者 49人)

- 人工呼吸器用外部バッテリーの最大稼働時間は、「6～9時間」が6割を超えている状況
- 蓄電池は約6割が「必要だが準備できていない」(「持っている」は約3割)
- 回答者の約9割が「停電時の非常用電源購入費に対する補助」を望んでいる

## 2 意見交換会や災害時個別支援計画の作成を進める中での意見

- 家庭用蓄電器だけでは命の危機を感じるため、非常用電源や発電機が必要
- 停電時に備えた非常用電源の確保は必須であり、備えるための支援をしてほしい
- 対応できる避難所や移動時のリスクなどの理由から、まずは自宅避難を考える方は多いと思うので、自宅でなるべく長時間生活ができるよう、購入費の補助等の電源確保に関する支援は必要である
- 非常用電源を持っている民間の人達(キッチンカー協会など)とのネットワークを活用させてもらえるように、日頃から関係づくりや議論を行っていくべき

# 自助を支える(非常用電源の確保)

## 3 福岡県の動き

- 令和7年度から、非常用電源購入費の助成を行う自治体への補助を開始



これらの状況・意見を踏まえ・・・

## 4 非常用電源確保の取組の考え方・方向性

- 非常用電源の確保に関する支援のニーズは高い
- 非常用電源の購入費に対する助成を行うことで、自宅避難生活の継続・安定(自助の強化)につながることが見込まれる
- 災害への備えの取組である「災害時個別支援計画の作成」と助成を一体的に実施することで、自助、共助の両面から強化を図り、安心できる避難生活を支える体制の構築をより加速できる
- 購入費補助以外の非常用電源確保の取組についても検討課題である(災害時に充電ができる場所の確保等)

【令和8年度 非常用電源確保の取組】

R8年度中に非常用電源購入費用の助成を開始(予定)

※ 助成基準額等は、福岡県の基準等を踏まえながら検討中